

☆☆☆ JRKU
第69号

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GSハイム博多805号
TEL 092-415-4377
FAX 092-415-4399
発行人 縫 和彦
編集人 田 中 勇

第26回定期大会開催!



諸課題を闘うぞ!

本部は七月十四日第二六回定期大会を福岡市において開催しました。議長には唐津支部増本代議員 鹿見島 地本中野代議員が選出されました。一六名の代議員より、人事 賃金制度 改正 嘱託裁判等 活発な発言がされました。

縫 和彦

中央執行委員長挨拶

定期大会に参加されました代議員 傍聴者の皆さん 大変お疲れ様です。また、お忙しいなか掛け付けていただき ました。ご来賓の皆さまに心より感謝を申し上げます。

ウクライナ侵攻から一年半が経過しようとしています。核廃絶どころか武器供与がG7の主要課題となり、戦争は長期化を余儀なくされています。戦争が長期化するなか、岸田政権は防衛関連の文書を閣議決定し、防衛費の増強を推し進めています。国会は憲法改悪に向けて、具体的に動き始めました。通常国会は、防衛費財源確保法「LGBT理解増進法」「改正入管法」「GX脱炭素電源法」「歳費法」など、多くの法案が数の力により成立しました。我々にとり、納得できるものは何一つありません。

今大会で勝ち取るべき課題について
一つは、平和と人権 民主主義を守る
闘うらいて
二つ目は、職場運動を更に強化し

「共に動く」運動を拡大しよう。
三つ目は、人にやさしい鉄道づくりを具体化しよう。

四つ目は、嘱託再雇用社員の賃金労働条件の改善についてです。
最後にユニオン運動 組織の今後についてです。

真摯な議論を宜しくお願いいたします。

「来賓

- 元参議院議員 吉田忠智 様
- 唐津市議 伊藤一之 様
- こくみん共済 新藤大一 様
- 九州労働金庫 榑田浩士 様
- CoCoLife 坂口理恵 様
- JR九州OB会 小椿次郎 様

「メッセー」

- 衆議院議員 吉川はじめ 様
- 大分市議 馬見塚 剛 様
- こくみん共済福岡推進本部 佐田正二 様
- 本部長

◎ 心温まる連帯のご挨拶並びにメッセーに感謝申し上げます。



代議員発言

直轄支部

・原田線の倒木事故 沿線での雑草問題 信号喚呼標すら見えない。

要員問題 若手社員は年休を流す人が続出している。ワンマン自動放送故障でも数日運用されている。問題はなののか。

組合費改定支部は、全面的に協力していく。DC車両の冷房対策つままで同じことを繰り返しているのか、根本的な対策が必要。自動運転時の速度問題について。

大分地本

・省庁要請行動の詳細を教えてほしい。心臓疾患時等の復帰の判断は誰が行うのか。嘱託裁判の取り組み経過について、OB会の取り組みに感謝を申し上げる。今後は人証人 移行する。継続した支援をお願する。

統一地方選挙について、OB会と現退一致で取り組むことが出来た。残念ながら吉田さんを当選させる事が出来なかつたが、次回参議院選で当選を勝ち取りたい。

津久見駅人身事故に対して、現地調査を行ってきた。今後もつくる会とも連携し七月十六日の集会にも参加していく。大分駅で一人ではあるが頑張っている。駅では無人駅が進んだ結果、定期券販売が忙しくなっている。

熊本地本

・嘱託裁判 今後全組合員での取り組みが必要。統一地本選挙、二名の当選を果たすことが出来た。市議の方と利用しやすい、駅整備等を取り組んでいきたい。

ワンマン運転時の取り扱問題 停目的の統一が必要だ。多客問題で取り組み、1B車両が増結することが出来た。組織展望明るい議論も必要になる。

肥薩線復旧の取り組みについて、今後地域の方と連携していきたい。体力が続く限り70歳まで頑張て行かなければならぬ。

長崎地本

会社は、意見交換会を開いているが何のためにやっているのか。

訴訟団の一人として頑張っている。特休増に繋がったが、職場では年休が取れない、要員が増えない、限りの状態は続く。八月に四年ぶりの平和集会を開催する。参加してほしい。

鹿児島地本

・組合費改訂について、オンライン会議等も必要になってくる。組織改革も大胆に行う必要もあるのではないのか。

勤務認証について、自然災害時、出勤できない場合の取り扱いはどのようになるのか。要員問題について、いまだにマル車教育、線見すら行えていないのに安全創造に出させている。

特急ワンマン、不正乗車が常態化されている。特改行路で5万〜6万の収入が出ていく。会社は収入確保というが、問題ありだ。おれんじ鉄道の出向者の労働条件があまりにもかけ離れている。本部は上申したい。

組合員からの要求として、自車扱いを全車扱いへ。折り返し作業をサービスマンサポート戻してほしい。また一両作業時分を延長してほしい。一六名の代議員からの発言は、大会発言や労働協約改訂として、会社 申第一、二号として申し入れきます。

本部答弁

職場からの取り組みの感謝を申し上げる。今後も共に動く運動を展開してほしい。嘱託裁判等全員で取り組んでいきたい。

岩谷文之 書記長

総括答弁 社員や利用者からの意見を無視してまで実施する効率化に反対していく。人事 賃金制度改正は、総人件費の削減であり、交渉を継続していく。平和の取り組みに対して、日本は、アメリカの代理戦争巻き込まれている。平和を希求されている方と連携していく。

組合費改訂について、職場討議をお願したい。本部も必ず参加していく。

【2023年度新役員体制】

- 委員長 縫 和彦
- 副委員長 中江一貴
- 書記長 嬉野正行
- 執行委員 岩谷文之
- 田中 勇
- 花牟禮聡
- 上田年美
- 〃 (新) 山元 竜
- 〃 島田正晴
- 〃 池田 亨
- 会計監査 岩崎正登
- 特別執行委員 中村逸郎
- 〃 村口 康
- 〃 草柳昌二

*特別執行委員の中村可孝さんは、今回で退任いたしました。お疲れ様でした。

